

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： キヤノンインクタンク PFI-105GY

製品コード： 3009B

会社名： キヤノン株式会社  
 住所： 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

問合せ先： キヤノンマーケティングジャパン株式会社 製品安全推進担当  
 住所： 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6  
 電話番号： 03-6719-9729

MSDS番号： IC1480-0101

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物

一般名： インクジェットプリンタ用インク

成分及び含有量：

成分	重量%	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
グリセリン	5 - 10	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub>	(2)-242(化審法)	56-81-5
グリコール	5 - 10	営業秘密	営業秘密	営業秘密
銅化合物	< 1	営業秘密	営業秘密	営業秘密
水	60 - 80	H <sub>2</sub> O	なし	7732-18-5

危険有害成分：

グリセリン、銅化合物

製品安全データシート

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：

通常の使用条件下での危険有害性は予測されない。

特定の危険有害性：

情報なし

主要な徴候：

吸入： 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。  
蒸気やミストに過度に暴露すると、呼吸器の刺激や咳、めまい、眠気、頭痛、吐き気を起こす可能性がある。

経口： 腹痛や下痢、めまい、眠気、倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐を起こす可能性がある。

目： わずかな刺激性があるかもしれない。（項11. 有害性情報 参照）

皮膚： 刺激性および感作性は予測されない。（項11. 有害性情報 参照）

慢性影響： 情報なし

分類の名称（分類基準は日本方式）：

分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合：

症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の助言を得る。

皮膚に付着した場合：

石鹼や刺激の弱い洗剤を使い、水で良く洗浄する。  
刺激が残る場合は、医師の助言を得る。

目に入った場合：

直ちにほどよく温かい、ゆるやかな流水で5分間、または取り除かれるまで洗浄する。  
刺激が残る場合は、直ちに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

口をすすがせる。コップ1、2杯の水を飲ませる。  
刺激や不快感が生じた場合は、直ちに医師の助言を得る。

医師に対する特別注意事項：

なし

製品安全データシート

5．火災時の措置

消火剤：

二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤

不適切な消火剤：

なし

火災時の特定危険有害性：

なし

特定の消火方法：

なし

消火を行う者の保護：

必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

危険な燃焼生成物：

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：

目や皮膚、衣服に付かないようにする。

環境に対する注意事項：

河川や下水に流さない。

除去方法：

濡れた布や紙で拭き取る。

製品安全データシート

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： 通常の取扱いでは不要。

注意事項： 適切な換気のもとで使用する。  
 目や皮膚、衣服に付かないようにする。もし付いた場合は、速やかに洗浄する。

安全取扱い注意事項： 漏れや飛び散りが発生する可能性があるため、インクタンクを振らない。

保管：

保管条件： 日光を避け、涼しい所に保管する。  
 子供の手の届かない所に保管する。

容器包装材料： 適用外（本製品は、他の容器包装へ移し替えて保管することを意図されていない。）

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

適切な換気を行う。

製品：	労働安全衛生法	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
	管理濃度	許容濃度	
インクジェットプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし

成分：	労働安全衛生法	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
	管理濃度	許容濃度	
グリセリン	設定なし	設定なし	グリセリン ミスト： TWA 10 mg/m <sup>3</sup>

保護具：

呼吸器の保護具：  必要  不要

目 / 顔の保護具：  必要  不要

皮膚の保護具：  必要  不要

製品安全データシート

9 . 物理的及び化学的性質

物理的状态：

形状 / 色： 液体 / ブラック

臭い： 微臭

pH： 9 - 10

物理的状态が变化する特定の温度 / 温度範囲：

沸点 / 範囲( )： データなし

融点 / 範囲( )： データなし

分解温度( )： データなし

引火点( )： 引火点なし(推定)

発火点( )： データなし

爆発特性： なし(推定)

酸化性： なし(推定)

蒸気圧： データなし

蒸気密度： データなし

密度 / 比重： 1.0 - 1.1

溶解性：

水溶性： 可溶

脂溶性： データなし

オクタノール

/ 水分配係数： データなし

蒸発率： 60 - 80 %

10 . 安定性及び反応性

安定性：  安定  不安定

特定条件下で生じる

危険な反応： なし

避けるべき条件： なし

避けるべき材料： 酸、塩基、酸化剤、還元剤

有害な分解生成物： 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物

製品安全データシート

1 1 . 有害性情報

急性毒性：

吸入：データなし

経口：データなし

経皮：データなし

局所効果：

目： ラビット Mild irritant (推定)  
 OECD Guidelines No.405 (2002), 2004/73/EC Method B5

皮膚：ラビット Non-irritant (推定)  
 OECD Guidelines No.404 (2002), 2004/73/EC Method B4

感作性：

マウス Non-sensitizer (推定)  
 OECD Guidelines No.429 (2002), 2004/73/EC Method B42

慢性毒性・長期毒性：

データなし

発がん性：

データなし

変異原性：

Ames試験（ネズミチフス菌、大腸菌）：陰性

生殖毒性：

データなし

その他：

なし

製品安全データシート

1 2 . 環境影響情報

移動性：

データなし

残留性 / 分解性：

データなし

生体蓄積性：

データなし

生態毒性：

データなし

その他の有害性：

データなし

1 3 . 廃棄上の注意

廃棄方法：

使用済みのインクタンクは、所定の回収窓口または回収スタンドに持ち込む。  
 または、国の法律や地方自治体の条例に従って廃棄する。

1 4 . 輸送上の注意

国際規制：

海洋汚染物質

(IMDGコード)： 該当しない

国連分類：

該当しない

国連番号：

該当しない

国連輸送品目名：

該当しない

国連包装等級：

該当しない

特別な注意：

なし

1 5 . 適用法令

労働安全衛生法 危険物：対象外

名称等を表示すべき危険物及び有害物 / 通知対象物：対象外

化学物質排出把握管理促進法（化管法）第一種 / 第二種指定化学物質：該当しない

毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物：該当しない

消防法 危険物及び指定可燃物：該当しない

## 製品安全データシート

### 16 . その他の情報

推定：類似組成インクまたは構成成分のデータに基づく推定

引用文献：

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO) 国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語：

- ・化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- ・安衛法：労働安全衛生法
- ・化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- ・ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values (米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値)
- ・TWA: Time Weighted Average (時間加重平均)
- ・STEL: Short Term Exposure Limit (短時間暴露限界値)
- ・IARC: International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)
- ・IMDGコード：International Maritime Dangerous Goods Code (国際海上危険物質規則)

本製品安全データシート（MSDS）は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、MSDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本MSDSは、その記載内容を保証するものではありません。